食道癌(進行·再発) 1st Line FP-RT療法(700/70)

患者ID: **@PATIENTID** RT: 2.0Gy×30回 (60Gy)

患者氏名 : **@PATIENTNAME**

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m³) SHEIGHT01_Doc #VALUE!

投与スケジュール: 1コース 28日間

使 用 基 準 : class A

指示 1: 尿量測定 毎日 **指示 2**: 体重測定 毎日起床時

指示3: 利尿剤投与指示 以下条件でフロセミド1A iv

Day1開始から21時(約10時間)の尿量≦800mLDay2治療開始より24時間までの尿量≦2000mLDay3~終了翌日治療継続中における24時間の尿量≦1500mL

化学療法開始直前と比べて2kg以上の体重増加があり、利尿剤未使用

注意:Day5以降も水分摂取が少ない場合や尿量が少ない場合には、輸液を考慮すること《 使 用 薬 剤 》

シスプラチン (CDDP): シスプラチン注 50mg/100mL/V、10mg/20mL/V フルオロウラシル: フルオロウラシル注 (250mg/5mL、1000mg/20mL)

投与量:

汉丁里 ·				
薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
シスプラチン	70 mg/m²	#VALUE!		1
フルオロウラシル	700 mg/m²	#VALUE!		1~5

〈〈 タイムスケジュール:開始時刻 〉〉

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1 1月1日 (日) ※CVポートより投与の場合は

コアレスニードルセットにセイフTポートを接続して投与開始

	メイン側管	•				
0時00分	1	生理食塩液 500mL				
		2時間で点滴静注				
1時15分	内服	アプレピタントカプセル 125mg	1 × (1)シスプラチン開始1m	時間前頃	
2時00分	2	生理食塩液 50mL + グラニヤ	セトロン	, 1A + デキサート	9.9mg	
		15分で点滴静注				
2時15分	3	生理食塩液 700mL	+	シスプラチン	Omg	
		2時間で点滴静注				O. OmL
4時15分	4	ソリタT3号 500mL	+	フルオロウラシル	Omg	
	(A)	12時間で点滴静注			O. OmL	
	4 '	生理食塩液 500mL		+ 1 - BB + 1 \ \		
6時15分	(5)	2時間で点滴静注 (側管から ソリタT3号 500mL	4と同時	前に開始)		
0世10万			心'级 了	7後より開始)		
16時15分	(6)	ソリタ T 3 号 500mL	+	フルオロウラシル	Omg	
104,107	•	12時間で点滴静注	'		O. OmL	
		(25) IN CAMPINITY				
Day2~5 1月2日	(月) ~	1月5日 (木)				
Day2~5 1月2日 起床後	(月) ~ <mark>内服</mark>	1月5日 (木) アプレピタントカプセ	: ハ 80mg	g 1×(2)起床後		
	内服	アプレピタントカプセ	:ル 80mg	g 1×(2)起床後		
		アプレピタントカプセ				
起床後 22時00分	内服 メン 側管	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサ- 15分で点滴静注 (側管から)	− ⊦ 6.6			
起床後	内服がり	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサ- 15分で点滴静注 (側管から) 生理食塩液 500mL×3	ート 6.6 開始)	Omg		
起床後 22時00分 22時15分	内服 以) 側管 ①	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサ- 15分で点滴静注 (側管から 生理食塩液 500mL×3 6時間(2時間×3)で点滴静注	ート 6.6 開始) E (側管	ômg 管から①終了後より開始		
起床後 22時00分	内服 メン 側管	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサ- 15分で点滴静注 (側管から 生理食塩液 500mL×3 6時間 (2時間×3) で点滴静注 ソリタT3号 500mL	ート 6.6 開始)	Omg	Omg	
起床後 22時00分 22時15分	内服 以) 側管 ①	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサ- 15分で点滴静注 (側管から 生理食塩液 500mL×3 6時間(2時間×3)で点滴静注	ート 6.6 開始) E (側管	ômg 管から①終了後より開始		
起床後 22時00分 22時15分 4時15分	内服	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサー 15分で点滴静注 (側管から) 生理食塩液 500mL×3 6時間 (2時間×3) で点滴静注 ソリタT3号 500mL 12時間で点滴静注	ート 6.6 開始) E (側管 +	ômg 管から①終了後より開始 フルオロウラシル	Omg O. OmL	
起床後 22時00分 22時15分 4時15分 16時15分	内服	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサー 15分で点滴静注 (側管から 生理食塩液 500mL×3 6時間 (2時間×3) で点滴静注 ソリタT3号 500mL 12時間で点滴静注 ソリタT3号 500mL 12時間で点滴静注	ート 6.6 開始) E (側管 +	ômg 管から①終了後より開始 フルオロウラシル	Omg <i>O. OmL</i> Omg	
起床後 22時00分 22時15分 4時15分	内服 以2 ③ ④ (金)	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサー 15分で点滴静注 (側管から 生理食塩液 500mL×3 6時間 (2時間×3) で点滴静注 ソリタT3号 500mL 12時間で点滴静注 ソリタT3号 500mL 12時間で点滴静注 (Day5 ④終了直後)	ート 6.6 開始) E (側管 +	ômg 管から①終了後より開始 フルオロウラシル	Omg <i>O. OmL</i> Omg	
起床後 22時00分 22時15分 4時15分 16時15分 Day6 1月6日	内服 メル 側管 ② ③ ④ (金)	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサー 15分で点滴静注 (側管から) 生理食塩液 500mL × 3 6時間 (2時間×3) で点滴静注 ソリタT3号 500mL 12時間で点滴静注 ソリタT3号 500mL 12時間で点滴静注 (Day5 ④終了直後)	ート 6.6 開始) E (側管 +	ômg 管から①終了後より開始 フルオロウラシル	Omg <i>O. OmL</i> Omg	
起床後 22時00分 22時15分 4時15分 16時15分	内服 以2 ③ ④ (金)	アプレピタントカプセ 生理食塩液 50mL + デキサー 15分で点滴静注 (側管から 生理食塩液 500mL×3 6時間 (2時間×3) で点滴静注 ソリタT3号 500mL 12時間で点滴静注 ソリタT3号 500mL 12時間で点滴静注 (Day5 ④終了直後)	ート 6.6 開始) E (側管 +	ômg 管から①終了後より開始 フルオロウラシル	Omg <i>O. OmL</i> Omg	

REFERENCE

Kaoru Ishida, Nobutoshi Ando, Seiichiro Yamamoto, et al: Jpn J Clin Oncol 34(10):615-619, 2004
Phase II Study of Cisplatin and 5-Fluorouracil with Concurrent Radiotherapy in Advanced Squamous Cell Carcinoma of the Esophagus: a Japan Esophageal Oncology Group (JEOG)/ Japan Clinical Oncology Group Trial (JCOG9516) 第10回化学療法プロトコール審査委員会承認: 2009年10月28日 更新:2016年7月14日